

町民と議会をむすぶ

# 町議会 だより

 池田町

VOL. 17

令和3年5月1日発行

## 【主な内容】

議案審議及び施政方針 ..... 2～4

町政に問う 一般質問 3人が登壇 ..... 5～7

## 委員会審議

文教経済常任委員会 ..... 8

総務厚生常任委員会 ..... 9



池田杉を活用した遊具(あそびハウス)

## 人が集う森 活かされる木



# 3月定例会

## 令和3年度 一般会計予算 30億6,630万円

3月定例会が3月9日から17日の9日間にわたり開催され、一般会計および特別会計の令和2年度補正予算と令和3年度当初予算に関する15議案、条例に関する6議案、その他3議案、計24議案が提出され、全議案可決されました。  
令和3年度一般会計予算は、前年度比1億8,080万円の減額(マイナス5.6%)となっています。

### 定例会で提案された議案

#### 令和2年度 補正予算

議案第5号	令和2年度 池田町一般会計補正予算(第11号) …各種事業の実績見込みにより不要額の減額補正を行う他、観光施設整備基金、及び庁舎建設基金に、それぞれ4,500万円を積み立てを行う197万円を追加し、総額を41億3,436万9千円に
議案第6号	令和2年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第6号) …療養給付費等の見込みにより4,860万7千円を減額し、総額を2億8,642万円に
議案第7号	令和2年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第6号) …医療用機械器具費の財源の更正を行い、予算の総額に変更はなし
議案第8号	令和2年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第3号) …消費税還付金の基金積み立て326万2千円を追加し、総額を2億4,850万7千円に
議案第9号	令和2年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第3号) …消費税納税額の減額により234万2千円を減額し、総額を1億8,506万5千円に
議案第10号	令和2年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第5号) …事業実績により保険給付費の精算により485万円を減額し、総額を4億2,731万4千円に
議案第11号	令和2年度 池田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) …保険料の増額に伴う後期高齢者医療広域連合への納付金の増額により、376万3千円を追加し、総額を4,806万3千円に

#### 令和3年度 当初予算

議案第12号	池田町一般会計予算	総額30億6,630万円
議案第13号	池田町国民健康保険特別会計予算	総額2億9,400万円
議案第14号	池田町国民健康保険診療施設特別会計予算	総額1億8,250万円
議案第15号	池田町簡易水道特別会計予算	総額3億660万円
議案第16号	池田町下水道事業特別会計予算	総額2億1,130万円
議案第17号	池田町農業集落排水事業特別会計予算	総額5,700万円
議案第18号	池田町介護保険特別会計予算	総額4億2,550万円
議案第19号	池田町後期高齢者医療特別会計予算	総額4,880万円

議案第20号	池田町特定公共賃貸住宅等の効率的な管理を実施するための関係条例の整備に関する条例の制定について …町営住宅の入居、退去に関する事務等の合理化を図るため、民間の不動産業者等に指定管理ができるようにするための条例改正
議案第21号	池田町防災行政無線(同報系)無線局の設置及び管理に関する条例の一部改正について …町の防災行政無線設備をアナログ式からデジタル式へ切り替えたことによる、運営方法を一部変更するための条例改正
議案第22号	池田町まちづくり自治委員会設置条例の一部改正について …まちづくり自治制度の運営が適正に図られるための条例改正
議案第23号	池田町国民健康保険条例の一部改正について …新型コロナウイルス感染症の、法的位置付けが変更されたことに伴う条例制定
議案第24号	池田町国民健康保険税条例の一部改正について …令和3年度の国民健康保険の税率の改正を行うための条例改正
議案第25号	池田町介護保険条例の一部改正について …令和3年度から令和5年度までの介護保険料の保険料率の改正を行うための条例改正
議案第26号	公の施設の指定管理者の再指定について …指定管理の事業期間が3月31日をもって満了する、11施設について指定期間を変更するもの
議案第27号	辺地に係る総合整備計画の策定について …「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」の拡張整備、並びに「志津原地区リゾート」の再整備実施に向けて財政上の特例措置を受けるため、整備計画を策定するもの
議案第28号	副町長の選任につき同意を求めることについて …溝口淳氏(池田町池田)を任命



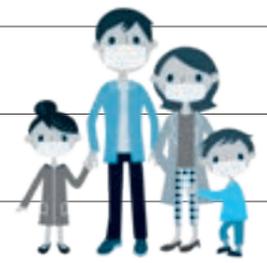
【審議結果】 議案第12、24、25号については、宇野邦弘議員が反対、その他21議案は全員一致で採択

# 2月臨時会

令和3年 第1回臨時会(令和3年2月19日開会)

### 臨時会で提案された議案

議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 令和2年度池田町一般会計補正予算(第9号)) …除雪経費に不足が生じる見込みにより5,886万円を専決
議案第2号	令和2年度 池田町一般会計補正予算(第10号) …新型コロナ対策への対策経費として1億1,530万7千円を追加補正
議案第3号	令和2年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号) …新型コロナ対策への対策経費として538万4千円を追加補正
議案第4号	令和2年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第5号) …新型コロナ対策への対策経費として50万8千円を追加補正



【審議結果】 全員賛成で採択

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

## 一般質問



宇野 一正 議員

### 雪下ろし補助について

今年は3年ぶりの大雪に見舞われ、雪降ろし作業で救急搬送された方が5人、その中で3人が80歳以上の方であった。他に腰や肩を痛めた方もいた。屋根の雪降ろしや除雪作業は大変危険が伴い、高齢者には重労働である。

除雪依頼した場合の費用も大きな負担となる。そこで高齢者の方が事業者等に依頼した場合、申告制にして事業者に補助金が支払われるようにできないか。また、ボランティアにされる方も多く、地域の方に支払うときにはお助け券などがあると頼みやすいのでは、と考える。

### 総務財政課長

屋根雪下ろしを事業者に依頼した場合に、補助金を交付するとなると、補助の適用範囲はどうするのか、非課税世帯なのか、一人暮らしなのか、近くに家族がいる場合はどうするのか。

また、ご近所の方に依頼した場合はどうするのか、屋根融雪を設置している家庭は対象にならないのか、等補助制度を整備するには十分な検討が必要である。

地域お助け券については、集落や地域が主体となり、地域福祉や地域防災に取り組み活動を行うのであれば、町の地域自治再興交付金等の活用も可能と考えている。

### 476号線の消雪について

町内の道路は他の市町村から羨むほどの除雪の良さで、一町民として感謝している。幹線道路の寺島から藪田までは融雪装置が設置されているが、降雪が続くと融雪装置の取入れ口に雪が詰まり、装置が止まってしまふ。この用水は稲荷、藪田の防火用水であり大変重要な用水であり止めることは出来ない。

稲荷橋の近くには地下水が豊富にあると思われる、地下水を利用して魚見や西角間では消雪効果があるため、寺島から藪田まで地下水を使用できるよう、県土木事務所に働きかけていただきたい。

### 町土整備課長

国道476号寺島藪田間の消雪水源の地下水へ転換について、町としては、以前福井県に対し集落内の通行困難や取水口周辺の道路浸水状況を説明し、水源の地下水等への転換を過去に要望したところである。

近年町外から冬の池田町を楽しみに来られる方が多くいる。せっかく自然いっぱいの池田町に来て、トイレが使えないとなるとショックである。せめて使用出来る

### 池田町のトイレについて

2月末に町内の道路沿いにある公衆トイレについて使用できないトイレが多かった。そのため、取水口の一部改造や、ポンプの更新を行ったところである。また、取水口の雪や木の枝等で閉塞しにくい構造への改良設備の検討を要請して参りたいと考えている。

トイレの案内板を作っていた。特に印象に残ったのは、洋式トイレが少ないことであり、時代のニーズに合わせて洋式トイレを増やすべきと考える。

農政策課長 かつてコテージ、農村de合宿キャンプセンター、冠荘、そばの郷池田屋、ツリーピクニックアドベンチャーいけだ、わいわいどーむなどがあり、現段階では十分な数と洋式トイレを確保していると考えている。志津原エリアの再開発において施設整備とあわせてトイレも整備したいと考えている。なお、民間施設において利用しやすい環境を整えることも大切ではないかと考えている。



## 町長施政方針及び諸事の報告



先般執り行われました町長改選選挙において、町民の皆様の身に余るご支援ご厚情を賜り、あらためて町政の重責を担当させて頂くこととなりました。

ここに皆様のご支援ご厚情に厚く御礼申し上げますと共に、この上は志の原点・初心を忘れることなく、慎重、丁寧、かつ積極的に町政に臨んでまいります。

## 「池田町の可能性を成長の軌道へ！」

### 重点施策

#### 「木望の森100年プロジェクトの展開」

山林の回生を目指し「100年の後も生きている山」「活かされている木」「人が集う森」を合い言葉に、各種事業に取り組んでまいります。

#### ○山づくりを改善する事業

- ・地形や利活用条件に基づいた山林の区分化
- ・針広混交林への構造改革の推進
- ・仮称「未来間伐」と称した、三段階択抜事業の推進や路網密度の充実
- ・施業、災害に強い道づくりの研究と実践
- ・森林経営管理法に基づく森林管理の受託など

#### ○木材の多様な活用を図る事業

- ・間伐材集荷事業の多角化
- ・木質バイオマスの促進と提案モデル事業の実施
- ・個性化を図るための商品デザインの実施、木材や加工品の教育的活用など

#### ○森に親しむレクリエーション事業

- ・山林や木材を利用した自然体験事業の推進
- ・都市農村交流事業の促進

#### 「観光村づくり事業の促進」

冠山トンネル開通や北陸新幹線延伸などを見据えた事業に取り組んでまいります。

#### ○農産物などの加工商品づくりから農業振興へ

○自然や農村文化体験プログラムなどを活かした農村観光事業や都市農村交流事業の推進

#### ○志津原リゾート再開発事業

#### 「地道で暖かな教育、手づくりの福祉の充実」

地域資源や小規模なまちの利点を活かしてまいります。

#### ○脳べるプロジェクト

食育の推進と町民全体の健康増進の取り組みにしていこう。

#### ○主体的能動的な学びの支援

池田町の地域ある財産を子ども達の成長過程に活かす事業と共に、アクティブラーニング、主体的能動的な学びの支援。

#### 「新庁舎新図書館建設計画の促進」

これまでの検討から得られた「行政サービスの利便性の向上」や「木質バイオマス熱利用計画」、「図書館の在り方」などの方向性を踏まえた「基本構想案」を作成してまいります。

### 令和3年度

## 主な事業

(千円未満切捨て)

○プレミアム付き商品券の販売……………1,487万円  
1万円ですべて1万3,000円分の地域応援券を販売し、コロナ禍に対する町内経済への支援。

○町内分散型町営住宅の建設促進……………1,413万円  
水海集落での集落活性化へ向けた活動を支援するため、町営住宅建設の土地取得費用。

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

## 一般質問



宇野 邦弘 議員

### 巨大な風車群 部子山の自然と環境が心配

銀杏峰から部子山にかけて高さ150mもの風車を23基も設置する風力発電計画について大野市側は計画休止になり、残る池田側だけの環境影響調査が進められている。

福井県知事の意見書では、関係自治体、住民の意見を十分聞いてとしているが、町として町民の意見を聞いているか。環境への負荷も大きい計画であり中止するよう求めるべき。また、景観を守るために景観条例の制定を考えていないのか。

木望の森づくり課長

1月の住民説明会で設置に伴う動植物に対する環境影響、自然災害に対する適正な調査など専門家の意見をよく踏まえるようにとの意見が出されている。今後、環境影響方向書が知事や町

長に示され町の意見も出すことになっている。

農村政策課長

美しい農村風景は町民の農山村における営みによって育まれるものと考えており、条例がなければ美しい景観を育むことができないとは考えられておらず、風力発電を狙い撃ちするかのようには作るものでない。

### 役場職員が元気に働ける環境づくりを

中堅の役場職員の退職が相ついでいるが、今年度で何人やめたのか。原因はどこにあると考えているか。元気に働ける職場環境作りのために、理事者はどんな努力、注意を払っているのか。

## 一般質問



丸石 純一 議員

### ふるさと納税について

福井県では毎年約3,000人の若者が県外に流出し続けており、東京圏の住民税収の3割強は、地方で育った若者に対し行政がおこなった将来への投資をもとに発生していることになり、生まれたふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度であるふるさと納税制度を積極的に活用し企業と連携していく道を模索していくべきだと考える。全体把握するために質問をいくつか行う。

池田町へのふるさと納税額が、町外へのふるさと納税額を下回った年度と金額はどうか

総務財政課長 平成29年

魅力発信のため楽天やふるさとチョイスなどのサイトに登録し、企業との提携を検討していくことは可能か

総務財政課長

現在池田町ではふるさと納税の活用方法を2種類用意している。1つ目はちっちゃな幸せ実現事業での活用。2つ目は、分野を指定して頂きその事

総務財政課長 今年度の中途退職者は3人。業務の支障は当然ある。業務の優先順位をつけたり、以前の担当職員の援助を借りたりしている。能力を伸ばすために職員が望む研修も行い、

### 古民家再生補助金の復活を

危険な状況の空き家の所有者への撤去要請などは、クラッセルへの登録件数は、「古民家等再生改修補助事業」について、地方創生町民会議がまとめた「池田町地方創生総合戦略」改定に向けた議論の概要では、「住宅補助は他市町と比べても高額であり、補助金の整理が必要」と述べているが、他市町とは補助額が多いのになんでダメなのか。この制度の利用件数、総額はどれぐらいか。ぜひ、復活を求める。

総務財政課長 空き家は約80件、うち11件は極度に状態が悪く倒壊の恐れがあり解体を促している。クラッセル登録は4件で、消防署の調査では48件が外観上利用可能な空き家。独自に危険家の撤去に向けた取り組みをしている集落もあり注目している。



まちづくり自治委員の委嘱式

業に充当するということ。また現在地方創生総合戦略を策定している中で町として現在のふるさと納税の活用方法の見直しも検討していく必要があると考えている。

先ほどの説明以外で登録をしない理由がある場合はどういった事か

総務財政課長

ふるさと納税サイトへ登録すると利用料金として数%から約10%を手数料として払うことになる。公益性の高い寄付金の1割が町に届かず、業者への利益となるのは疑問が残る。また寄付された方もこのようなことは望まないと考えている。

ワークライフバランスが取れる環境整備に努めている。

副町長

難しい問題を一人で抱えこまず、チームワークで取り組みの共有、解決など、時間の使い方の改善も図っている。

### 防災対策について

福井高専の研究室が地震研究のため、鯖江市と福井市、そして池田町谷口の3か所に地震計を設置しているが、担当教官の退官により、この研究室がなくなる。「町が活用できないか」と打診をしたが先生曰く「断腸の思い」で撤去したとのこと。残る2基は防災対策や防災学習目的で鯖江市など

ワークライフバランスが取れる環境整備に努めている。

### 学校給食の無料化を

給食は食育教育の一環として無料化の自治体が永平寺町など全国で増えている。コロナ禍のもと、鯖江市や高浜町では今年度は無料にしている。越前町でも新町長は「無償化」を公約に掲げた。文科省も「設置者の判断により保護者の負担の軽減を図ることは可能」との見解を示している。

教育委員会事務局局長

受益者負担の原則にもとづき応分の負担を求めている。給食材料費は954万円余。保護者負担524万円余、教職員負担127万円余となっている。

が引き取り、この先生が引き続きモニタリングや維持管理を行うという。せっかくの機会を見逃さしたのでは。

副町長

先生から直接言っていたければよかったが、地震計についての詳しい事情は聴いていない。町役場の管理になってもデータ活用など難しかったと考える。

### せめて寄付金や納税時に非接触や負担軽減のためにオンライン決済の導入を検討してはどうか

総務財政課長

利用者の利便性向上は最重要だが、システムを導入するだけで、既存の仕組みと連携がとれないのでは十分な機能を発揮することができない。これを踏まえながら、オンライン決済については、十分に検討し進めていく。

### 再質問

池田町にふるさと納税された寄付金については、令和元年度の決算年度現在高では1千3百5万円、今年度は100万円が寄付され、350万円使う予定。使う見込みがあっても、寄付金を増やす体制が整っていないので、予算上で、今年も100万円だろうという決め方がなされている。しかし基金より、毎年250万繰り入れをするならば、350万集める仕組みを作る必要があるかと考えているが、現状の意見を伺う。





## 文教経済常任委員会

委員長 佐野和彦  
副委員長 松井靖明  
委員 岩崎昭一 宇野一正  
宇野邦弘 丸石純一

### 新年度予算の執行に向けて

**宇野邦弘議員** サルの調査委託先はどこか。水士里(みどり)情報システムとはどういうものなのか。

**佐野議員** 足羽川漁業組合への補助の際、漁協とは事業調整を行っているのか。

**農村政策課長** 事前に、

**農村政策課長** 令和3年度においてはサル大型檻を設置し捕獲を計画している。調査委託先は(株)野生動物保護管理事務所(WMO)である。過去の委託も同社であり、県内の市町も同社なので個々に委託するより経費的にも有利になっている。

**丸石議員** 能楽の里牧場で、ドローンや火を使う利用者がいると聞いているので、利用規則等を作ってはどうか。

**町土整備課長** 水士里情報システムとは、地図、航空写真を基に、水路、農道などの施設管理するものである。

**副町長** 利用規則に火気厳禁等があるかどうか再度確認するが、規則だけで無く利用者のモラルが必要。

### 林道の整備について

**宇野邦弘議員** 林業事業において林専道路の達成率は100%なのに作業道の進捗が進んでいない、本来の意味で林専道路などは必要なのか疑問である。今後の林道のあり方を考えていただきたい。

**木望の森づくり課長** 山の価値を高める(施業等)意味で地元からの要望に基づき開設していることが基本、今後の考え方としては、基幹林道を基に、経済林として価値があるところを中心に、林専道路、作業道の接続を考えていく。

**副町長** 今後は国が決めた規格での林専道の計画よりも、町の林業推進に基づく整備を考える必要がある。

### 町営施設のあり方は

**松井議員** 新年度から町の直営となるキャンプセンターの今後の運営はどうするのか。

**副町長** クライミング施設は教育委員会、宿泊施設は農村政策課、と区分するが、スタッフ自体は変わらない、予算の出所が変わる。

**佐野議員** 新保スキー場の今後の運営について、9

月議会までに方向性を決めると聞いたが、角間地区の地元との協議はなされているのか。角間地区においては、診療所、学校等がなくなり、段々活気が無くなってきているとの声を聞く。新保スキー場は小さなお子様も楽しめる場所であり、町としても価値があるのではないかと。できれば継続を願っている。

また整備費用を抑え、耐久性のある道を目指し生産性を上げることが大事と考える。林道づくりの研究を行う。

**農村政策課長** TPAの拡張部においては費用対効果の試算は行っており収支は見込めるものとなっている。志津原の整備計画は、池田町の玄関口、公園など憩いのスペースも含まれており、費用対効果の算定に当てはまるものばかりとは考えにくい。マルシェなども計画しているが、料金設定は今後、先進地などの視察調査も行い決めていく予定である。

**副町長** 地元の代表者の方々の意志をお伺いした時に、今のところ継続について明快な返答をいただけてない。専属職員を配置すれば経済的に苦しくなるし、予算上966万円の計上は60日間営業が出来ての数字であるが、ここ2年間は営業できない状況である。営業できないとなれば持ち出しとなる。人材確保の面からも、責任者においては有資格者の確保が難しい点もある。

**岩崎議員** 志津原・土合血尾地区に整備する施設は規模も大きく、建物の維持管理、特に冬期間の除雪、雪降ろしなど費用も大きいのではないかと予想されるがその点はいかがか。

### 志津原再開発について

**丸石議員** 昨年度のTPAの拡張整備計画に、今回、志津原・土合血尾地区

**農村政策課長** 維持経費に関するご指摘と思うが、施設規模、及び冬期間の維持管理に大きく関係する屋根の形状など今後検討していく。

# 質 疑 応 答

## 総務厚生常任委員会

委員長 飯田拓見  
副委員長 宇野一正  
委員 和田義則 宇野邦弘  
松井靖明 丸石純一

### 町営公共住宅の今後の計画は

**宇野一正議員** 水海の住宅用地購入を計画しているが、何棟建設の予定か。

**総務財政課長** 水海区の構想を聞き取り、役場の意見も交えて協議していくので、今は具体的な計画までは出来ていない。

**丸石議員** 池田町公共賃貸住宅の管理を指定管理者に移行する件で、委託先は今後どのように決めるのか。

**総務財政課長** 指定管理先を決める場合は、公募にて決めることとなる。

### 便利で安心な暮らしに向けて

**丸石議員** 町内で障害の認定を受けている方は何名か。

また、不妊治療の助成拡充とあるが内容は。

**保健福祉課長** 認定者の内訳として

認定者の内訳	
障害手帳	187人
療育手帳	12人
精神障害者保健福祉手帳	26人

サービス利用者の内訳	
精神通院医療サービス	46人
介護給付費受給	29人
訓練等給付費受給	30人
日常生活用具給付	12人



また、不妊治療については少子化対策の一つで、体外受精(顕微鏡受精)への支援が拡充されたが、現在まで申請を受けた実績はない。

### 役場庁舎建設について

**宇野邦弘議員** 新庁舎検討報告書は、会議室等の使用方法などよく考えられた内容と思う。

今後、庁舎基本構想の作成委託には、バイオマス、図書館の部分についても含めて委託するのか。

**副町長** 今回の新庁舎基本構想は、庁舎を主体に進めていく。

まずは庁舎で必要な熱量、熱利用方法を決めてから、それに合わせたバイオマスシステムに移っていくことになる。

バイオマス関係については、「チップ製造」「チップの燃焼」「熱の利用(お湯・空気)」の3つの部門に分けて検討していくことになるが、これは別に検討していく。

庁舎建設という点、どんな建物(デザイン的なもの)のご意見が多いが、本質は「行政のあり方」、

### 役場庁舎建設スケジュール

令和3年度	基本構想
令和4年度	実施設計
令和5年度	敷地造成
令和6年度	着工
令和7年度	完成・移転

**飯田議員** 意見 庁舎建設については改めて、全員協議会にて説明を要望する。

**【結果】** 3/16(火)に「新庁舎建設に関する全員協議会」を開催し、協議内容をP10に掲載しています。

役場庁舎の大きさ、バイオマス熱供給など  
役場庁舎等建設研究会報告を受けて論議

## 全員協議会でも質疑しました

3月議会に「池田町役場庁舎等建設研究会報告」が示されました。それによると場所は交流会館跡地、床面積は最も小さい設定で2,500㎡(現在の役場・開発センター・交流会館3施設合計は5,100㎡)想定。木望の森100年プロジェクトのシンボル施設として木造落雪型などが提起されています。この報告に基づき、役場庁舎については専門業者に基本構想の作成を委託することになります。



### 庁舎床面積は

**佐野議員** 「無駄のない建物はおもしろくない」との専門家の意見もある。将来の職員数の変更、防災拠点のことも考慮して面積的にも2割程度の余裕があったほうがよいのではないか。

**副町長** 今回示した面積2,500㎡は最小限面積であり、現実的にはもう少し大きくないと想定している。

**飯田議員** 図書館の図書を全部並べるとやはり面積は広くなるが、見せたい本、読ませたい本を選定して並べることに有利なスペースにつながるのではないかと。役場・図書館の入館時の「見せ方」を検討してはどうか。

**宇野邦弘議員** 議場と大会議室を供用するのは良い。庁舎と図書館の連結の考え方はないのか。

**副町長** 図書館と庁舎の連結については、休日のセキュリティ対策も考慮し今後検討していく。

### バイオマス熱供給について

**佐野議員** 木質バイオマスでの発電は計画しているのか。冷房も可能なのか。チップ生産、備蓄も含めて、町民、県民へのPRも考慮する必要がある。チップボイラーの設置場所は。

**副町長** バイオマス発電はコスト面では採算が取れないため、検討していない。今は、熱利用などでコスト面を補う考え。冷房も熱交換で可能。ボイラー室は建物の横に別棟にて設置する。

**佐野議員** 河川を利用した、除雪、落雪式屋根が良いと思う。また夏場の河川付近の涼しさも利用できるのではないかと。

**丸石議員** バイオマス施設を新庁舎以外の、冠荘方面での利用はどうなのか。

**副町長** モデル住宅的なものは(近くに)実施したいと考えるが、配管での熱効率は悪く冠荘など離れた場所ではチップを運ぶ形とし、別ボイラーが望ましい。年間を通じ熱の利用が見込める施設が有効である。

**宇野一正議員** 木質チップの生産は、森林組合と連携するのかが。

**松井議員** チップ生産場所については運搬も考慮して選定した方が良いのでは。

**副町長** 原木の乾燥、チップ機械、貯蔵施設が必要のため、庁舎併設でない別の場所を検討している。

## 編集後記



令和3年度がスタートしました。コロナ禍のもと、不安や心配の尽きない生活が1年あまり続いておりますが、着実に時間は進みます。池田町の町づくりも、着実に進めて行かなければならないと思っております。私たちの池田町が、更に魅力ある町となるよう、議会としても、最善の努力をしてまいります。(佐野和彦)

### 表紙の写真

「いけだのそら」の活動による水海の森での散歩の様子。いけだのそらは、さとやま子育てコミュニティの名称です。池田町で親子が集まり、自然の中で過ごすことを大切に活動しています。

議会広報特別委員会	
委員長	宇野 邦弘
副委員長	丸石 純一
委員	佐野 和彦
委員	宇野 一正
委員	松井 靖明
発行責任者	
議長	和田 義則